

国立大学法人京都工芸繊維大学次期学長候補者の選考結果について

令和6年1月22日
国立大学法人京都工芸繊維大学
学長選考・監察会議

令和5年7月13日に公示した学長選考について、本会議は、次期学長候補者として選考したので、国立大学法人京都工芸繊維大学学長選考規則第10条の規定に基づき、下記のとおり公表する。

記

1. 次期学長候補者

氏名 吉本 昌広 (よしもと まさひろ)
現職 国立大学法人京都工芸繊維大学 理事・副学長

2. 任期

令和6年4月1日から令和9年3月31日まで

3. 選考理由

学長選考・監察会議は、学長候補適任者に係る推薦書・履歴書・所信表明書、意向調査(有資格者からの質問書・意見書の受付及び学長候補適任者からの回答)の結果、公聴会での質疑応答の内容を踏まえ、学長候補適任者との面接を実施し、慎重に議論を重ね総合的に判断した結果、合議(全会一致)により、吉本昌広氏を次期学長候補者として選考した。

吉本昌広氏は、「国立大学法人京都工芸繊維大学学長選考基準」で定める「学長に求める資質及び能力」を十分に備えており、これまで国立大学法人京都工芸繊維大学理事・副学長として培った経験に基づき、国立大学法人を取り巻く厳しい状況の中であっても、本学の強み・特色を最大限に生かし、理念に則って適切かつ効果的に運営することのできる人物であると判断した。

特に、同氏は、理事・副学長の経験を踏まえ、本学の課題や更なる発展のために今後強化すべき事項を十分に認識しており、課題解決や更なる発展に向けた方向性を具体的に提示している。また、実施にあたっては、戦略性や計画性を意識するとともに、現場との対話を重視したうえでリーダーシップを発揮する姿勢を明確に示している。加えて、公聴会や面接での真摯な対応から、信頼のおける人物であると評価した。これらのことから、本学の教育研究はもとより、グローバル化や社会貢献活動を推進することが期待できると評価した。

なお、同氏に対しては、研究活動等の不正行為等の疑いがあったが、研究活動上の不正行為等に関する最高管理責任者である森迫学長から調査委員会の調査結果として「不正行為等はないと判断する。」と報告があったことから、本会議においては、学長の資質に問題はないと判断した。

4. 選考過程

年月日	事項
令和5年 7月13日(木)	・学長選考公示
8月21日(月) ～ 9月1日(金)	・学長候補適任者の推薦受付 (吉本昌広氏の推薦を受理)
9月8日(金)	・学長候補適任者の公表 (吉本昌広氏) ・学長候補適任者の推薦書、履歴書、所信表明書の公表 ・意向調査の有資格者名簿公表
9月11日(月) ～ 10月20日(金)	【意向調査(質問書等の受付)】 ・意向調査の有資格者からの意見書・質問書の受付 ・学長候補適任者からの回答受付 ・意見書・質問書及び回答の公表
11月1日(水)	・公聴会の開催
12月6日(水)	・学長選考・監察会議による選考 (学長候補適任者との面接、審議) ⇒ 選考の保留の決定
令和6年 1月19日(金)	・学長選考・監察会議による選考 (研究不正等に係る本調査委員会の調査結果の確認、審議) ⇒ 次期学長候補者の決定